

安全安心社会研究センター主催の講演会等の活動

(発足以降 2012年3月まで)

第1回特別講演会

日 時：平成21年1月7日（水） 14：30-16：30

場 所：長岡技術科学大学 マルチメディアシステムセンター

テーマ：「安全・安心技術と原子力利用」

講 師：国立高等専門学校機構理事 小田公彦 先生

「安全技術から安全文化そして安全・安心技術へ

～原子力安全規制行政と科学技術政策立案の経験から～

東京大学大学院 工学研究科原子力専攻教授 班目春樹 先生

「原子力技術の活用に向けて」

第2回特別講演会（明治大学大学院新領域創造専攻安全学系との共催）

日 時：平成21年12月23日（水） 10：30-17：50

場 所：明治大学 駿河台校舎リパティタワー 9階 1095室

テーマ：「安全安心社会のためのシステム安全」

講 師：経済産業省製品安全課製品事故対策室長 藤代尚武 様

1. 現在の我が国の製品安全行政について

2. 諸外国における製品安全に関する取り組み

3. 今後の製品安全行政の課題

長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター客員研究員 大賀公二 様

「System Safetyから学ぶこと」

第3回特別講演会（明治大学大学院新領域創造専攻安全学系との共催）

日 時：平成22年12月23日（木） 10：30-17：50

場 所：明治大学 駿河台キャンパス 紫紺館3階 S3+S4会議室

テーマ：「安全安心社会のためのシステム安全」

講 師：経済産業省製品安全課製品事故対策室長 藤代尚武 様

「現在の我が国の製品安全行政について」

消費者庁消費者安全課 課長補佐 村上智信 様

「消費者安全に係る消費者庁の取り組みについて」

学内3センター合同講演会

主 催：長岡技術科学大学 ラジオアイソトープセンター
 同 体育・保健センター
 同 安全安心社会研究センター

目 的：福島第1原発の事故により、放射線について様々な解説がされているが、断片的でやや分かりにくいとの声を聞く。学内講師3名により、放射線に関する知識を短時間で網羅的かつ分かり易く全構成員に提供する。

日 時：平成23年6月13日（月） 12：15－12：45
 平成23年6月14日（火） 12：15－12：45
 平成23年6月15日（水） 12：15－12：45
 平成23年6月17日（金） 13：00－14：30

場 所：長岡技術科学大学 講義棟E講義室

講 師：本学機械系 伊藤義郎 教授

「放射線の種類と性質（放射線、同位元素、放射能）」

RIセンター 松本義伸 助教

「放射線の測定と単位

（測定原理、放射能・計数值・線量、防護の三原則）」

体育・保健センター 三宅仁 教授

「放射線の人体への影響（被曝の形態、

放射線障害の特徴、非確率的影響と確率的影響など）」

第4回特別講演会（明治大学大学院新領域創造専攻安全学系、

長岡技術科学大学安全パラダイムコース、

長岡技術科学大学システム安全同窓会との共催）

日 時：平成23年7月9日（土） 14：00－17：30

場 所：東京国際フォーラム G510号室

プログラム：14：00－15：00 原発の安全とシステム安全

講 師：安全安心社会研究センター長 三上喜貴 教授

講 師：システム安全系 岡本満喜子 准教授

福島原発事故を振り返り、システム安全の立場から何が言えるのか問題提起をしてみたいと思います。原子力分野はシステム安全の考え方を取り入れた大先輩のはずだが、どこに考え落と

しがあったのか？

15:00-16:00

講師：経済産業省製品事故対策室室長 藤代尚武 様

講師：製品安全協会専務理事 若井博雄 様

韓国では認証制度の統合に向けた大改革が進み、消費者製品全体に枠をかけた消費者安全基本法を制定した。日本の二歩先を行く韓国。製品安全協会若井専務理事の問題提起を受けて、経済産業省製品事故対策室藤代室長から日本のあるべき改革の方向について論じていただいた。

16:00-16:20 休憩

16:20-17:00 システム安全修了生第一号博士論文の紹介

講師：森 康 様

論文題目：「特性的リスクマトリクスの定量化手法と実務適用に関する研究」

講師：木村 真 様

論文題目：「安全確認の原理に基づく機械保守作業の安全に関する研究」

17:00-17:30 自由討議

第5回特別講演会（明治大学大学院新領域創造専攻安全学系、
長岡技術科学大学安全パラダイムコース、
長岡技術科学大学システム安全同窓会との共催）

日時：平成23年12月23日（金） 13:00-17:00

場所：東京国際フォーラム G510号室

プログラム：13:00-13:15 開場、登録受付

13:15-13:30 開会／主催者挨拶（技大、明大）

第1部 産業安全運動百周年

13:30-14:30

講師：明治大学新領域創造専攻安全学系教授 杉本 旭 先生

演題：「安全の真髄 ～世界に通用する安全の技術規格を作る～」

第2部 ソフトウェアの安全

14:30-15:05 講演1

講師：長岡技術科学大学システム安全学系教授 平尾裕司 先生

演題：「安全システムとソフトウェア」

概要：コンピュータ制御による安全システムが社会に浸透するにつ

れ、ソフトウェアの重要性が再認識されている。安全システムのためのソフトウェアの要件と課題、IEC61508などの機能安全規格のソフトウェア要求事項と問題点について概説する。

15:05-15:20 休憩

15:20-16:05 講演2

講師：ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株) 田渕一成 様

演題：「自動車のハイテク化の現状と機能安全への取り組み」

概要：自動車向け機能安全規格ISO 26262が11月に発行された。この規格は、機能安全を量産民生品に適用する初めての規格であり、従来の機能安全と比較していくつかの特徴を持っている。本講演では、ISO26262発行の背景として、自動車産業の抱える安全上の課題と、ISO26262の概要、取り組む上でのポイントなどを紹介する。

16:05-16:50 講演3

講師：東京都立産業技術研究センター 金田光範 様

演題：「原子力発電所の計装制御概要とソフトウェア」

概要：BWR原発を例に通常運転時の計装制御と計算機システムについて、構成と役割を紹介する。また事故時対応機能の一端を紹介する。そして、信頼性や安全性確保のための方策や設計思想をふりかえる。

16:50 閉会、事務連絡（同窓会）

システム安全エンジニア（SSE）資格制度活用に関する検討会

— SSEの将来を語る会 —

日時：2012年3月15日（木） 18:00-20:00

場所：シーサイドホテル芝弥生・しおさい

内容：・システム安全専攻の紹介

（事務局より本専攻の狙い、カリキュラムなどを紹介）

・SSE制度の紹介（事務局より紹介及び3年間の実績を報告）

・SSE資格者が活躍できるためには（討論）

長岡技術科学大学における安全安心社会の構築に向けた取り組み

年	本学の動き	社会全体の動き
2001 (H13)	機械安全工学寄附講座	3月 平成13-17年度科学技術基本計画の理念として「安心・安全で質の高い生活のできる国」 5月 厚生労働省より「機械の包括的な安全基準に関する指針」
2002 (H14)	4月 大学院機械創造工学専攻に「機械安全コース」	
2003 (H15)		5月 専門職大学院設置基準 機械安全の基本国際規格ISO12100（機械類の安全性－設計のための基本概念、一般原則）発行 食品安全基本法公布（7月施行）
2004 (H16)	3月 機械安全コース第一期生修了	4月 文科省 安全・安心な社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会報告書 7月 新潟・福島豪雨 10月 新潟県中越地震 12月 ISO12100に基づきJIS B 9700制定
2005 (H17)		安衛法改正、リスク評価義務化（翌4月施行）
2006 (H18)	1月 中越地震調査報告会 4月 専門職大学院システム安全専攻	技術経営関係専門職大学院10校によりMOT協議会発足 消費生活用製品安全法改正
2007 (H19)	10月 新潟中越沖地震震災復興シンポジウム	5月 重大事故報告制度運用開始 7月 新潟県中越沖地震
2008 (H 20)	3月 システム安全専攻第一期生修了 4月 安全安心社会研究センター発足 4月 博士後期課程情報・制御工学専攻に「安全工学コース」 7月 新潟中越沖地震一周年震災復興シンポジウム	
2009 (H21)	9月 本センターに客員研究員制度	9月 消費者被害を防ぐため、食品や製品の事故、クレームなどの情報を一元化した消費者庁発足
2010 (H22)	3月 システム安全エンジニア認定委員会（向殿征男委員長）との協力により「システム安全エンジニア資格制度」を創設、第一回試験を実施	
2011 (H23)	3月 「安全安心社会研究」創刊 4月 大学院博士課程に「安全パラダイム指向コース」	3月 東日本太平洋沖地震 東京電力福島第一原発で事故発生 7月 新潟・福島豪雨
2012 (H24)	3月 「安全安心社会研究」第2号発行 4月 大学院修士課程原子力システム安全工学専攻	

【安全安心社会研究センター運営委員】（平成24年3月末）

センター長

長岡技術科学大学 システム安全系 教授 三上 喜貴

副センター長

長岡技術科学大学 生物系 教授 福本 一朗

委員（アイウエオ順）

長岡技術科学大学 システム安全系 教授 阿部雅二郎

長岡技術科学大学 システム安全系 准教授 岡本満喜子

長岡技術科学大学 システム安全系 教授 門脇 敏

長岡技術科学大学 システム安全系 准教授 木村 哲也

長岡技術科学大学 技術開発センター 客員教授 佐橋 昭

明治大学 理工学部 教授 杉本 旭

長岡技術科学大学 システム安全系 教授 平尾 裕司

長岡技術科学大学 システム安全系 教授 福田 隆文

【安全安心社会研究センター客員研究員】（平成24年3月末）

（アイウエオ順）

岩岡 和幸 氏（株式会社モリタ製作所 品質技術部 主席係員）

大賀 公二 氏（有人宇宙システム株式会社 安全開発保証部 主幹技師）

大村 宏之 氏（社団法人日本食品機械工業会 事業部 部長）

山本 幹夫 氏（労働安全コンサルタント）